

無石綿



JIS A 6916

認証番号

TC 03 07 371

セメント系下地調整塗材2種〔C-2〕

NSカチオンワン#1

カチオン系一材型下地調整塗材

(極薄用)

NSカチオンワン#1は、セメント系粉体とカチオン系アクリル共重合体再乳化形粉末樹脂を予め適量混合した一材化製品で、各種下地に対し安定した接着力を発揮します。吹付け・塗装・防水工事の下地調整材として仲介接着、仮防水機能を発揮します(裏面の留意点参照)。また、改修・補修工事における下地処理材として広範囲な下地に適応できる一材化ポリマーセメントモルタル(樹脂モルタル)です。

特長

- 各種下地に対し、安定した接着強さを発揮します。
- 一材化製品のため、缶・ボトル等の廃材がなく、環境負荷の少ない製品です。
- 再乳化形粉末樹脂を適正配合しているため、接着耐久性に優れています。
- 工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。
- 作業性に優れ、施工効率が向上します。

標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地*	適用仕上げ	標準調合	塗厚		標準施工面積
					施工可能範囲	JIS規定範囲	
20kg/袋	内・外壁 内・外床 天井	コンクリート、 モルタル、 PC板、 ALCパネル、 タイル等	防水材下地調整、 クロス、 塗料、 タイルカーペット、 Pタイル、 塗り床下地等	こて仕様 約5.8ℓ	1~2mm	1~3mm	約17m ² /20kg袋 (1mm厚)
				ローラー・刷毛仕様 約8ℓ	0.5mm		約36m ² /20kg袋 (0.5mm厚)

注)*: 適応下地の詳細については「適応下地一覧表」および「各種下地に対する付着強さ」を参照してください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

■適応下地一覧表

A. 良く接着する下地*1	コンクリート、モルタル、ブロック、PC板、ALCパネル、磁器質タイル、せっき質タイル、陶器質タイル、ガラスモザイクタイル、大理石、御影石、人造石研ぎ出し、セメントリシン、アクリル系吹付タイル
B. 接着する下地*1	アスファルト防水、ウレタン防水用プライマー、加硫ゴムシート防水用プライマー、加硫ゴムシート防水用接着剤、塩化ビニルシート防水用接着剤、エポキシ塗床、鉄板、アクリル系吹付タイルトップコート、アクリルリシン
C. 接着するが不安定な下地*2	アスファルト防水用プライマー、ウレタン防水トップコート、スタッコ、現場発泡ウレタン
D. 推奨はできない下地	アルミニウム、ステンレス、ウレタン塗床、塩化ビニルシート、加硫ゴムシート、FRP防水 等

注)*1: 良く接着しても下地の母材強度が弱い場合、下地を引き起こすことも考えられますので、下地が健全であることを確認してください。

注)*2: 試験塗りをおこない、接着性を確認してください。

性能

試験項目	性 状		JIS A 6916 C-2の品質基準	
	こて仕様	ローラー・刷毛仕様		
軟度変化(%)	-9.7	-*	±20	
耐ひび割れ性	ひび割れの発生なし		ひび割れないこと	
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれなし		ひび割れ及びはがれないこと	
付着強さ(N/mm ²)	標準養生	2.1	1.4	1.0以上
	低温養生	1.4	1.4	0.7以上
吸水量(%)	0.7	0.7	1.0以下	
仕上材が複数仕上塗材の場合の耐久性	外観	割れ、膨れ及びはがれなし		割れ、膨れ及びはがれないこと
	付着強さ(N/mm ²)	1.2	1.7	1.0以上

※NSカチオンワン#1はC-2の物性を有しています。注)*: ローラー仕様のフロー値は広がりが大きく、測定が不可能なため、日本化成プロダクト(株)中央研究所
※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

■各種下地に対する付着強さ

適応下地 区分	下地の種類	付着強さ(N/mm ²)	
		標準養生	温冷繰返し後
A	コンクリート板	2.1	2.4
	磁器質タイル	2.3	2.1
B	鉄板	1.5	1.8
	エポキシ樹脂塗床	1.9	2.4
	ウレタン防水用プライマー	2.2	2.1
	アクリルリシン	1.0	0.8*
C	ウレタン防水トップコート	1.0	0.9
	アスファルト防水用プライマー	0.7	1.0

注)*: 下地の母材破壊 ●養生条件 ①標準養生: 20℃、80% R.H.で2日間静置後、20℃、60% R.H.で14日間養生 日本化成プロダクト(株)中央研究所
②温冷繰返し後: 標準養生後、温冷繰返し10サイクル(20℃水中18時間浸せき→20℃の恒温器で3時間冷却→50℃の恒温器内で3時間加熱を1サイクル)

施工法

下地の 点検・清掃

ぜい弱な旧仕上材・下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

*旧仕上材がタイル張りの場合は、打診により浮き等がないことを確認してください。浮き等がある場合は、ピンニング等の処置をおこなってください。

*吸水性の激しい下地への施工の場合には、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

*ブロック等下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

練混ぜ

所定量の水を容器に入れ、粉体を徐々に加えながらハンドミキサー等でダマにならないように十分に練り混ぜてください。

*強度低下の原因となりますので、粉体と水の調合割合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けてください(ローラーの場合はむらなく塗り付けてください)。

仕上材の種類によって、金ごて押え等をおこなってください。

養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

*初期の雨掛け等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので塗付け後仕上げまでの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

仮防水機能の留意点

■ 屋上防水改修工事におけるNSカチオンシリーズは各下地調整材の密実なポリマーセメントフィラー層として優れた耐吸水、耐透水性を發揮します。

■ 既存防水層撤去後のスラブコンクリート下地で、ひび割れがほとんどない場合は下地調整施工後、新規防水材施工までの間、降雨による水圧にも耐え、漏水させない機能(仮防水機能)を發揮しますが、**漏水をともなうおそれのあるひび割れがある場合は予め、漏水防止目的でクラック部のシーリング処理等をおこなってください。**

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0409036
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



使用上の注意

■ 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。

■ 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。

■ 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。

■ 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。

■ 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。